自治労連
# ひろしま
広島自治労連　2024年1月号

発行所　広島県自治体労働組合総連合
〒730-0051　広島市中区大手町4丁目2－27中央レジデンス405号
TEL 082-243-9240／E-mail　hjrouren@urban.ne.jp
FAX 082-243-9241／ホームページ　http://urban.ne.jp/home/hjrouren/
編集・発行　広島自治労連教育宣伝部
定価　1部10円　組合員の購読料は組合費に含まれています

**能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、
被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。
自治体、公務公共職場で働くみなさん、昼夜を問わず連日の災害対応おつかれさまです。**

# 被災者支援に取り組むとともに、安心・安全の地域づくりを

## 地域住民の繁栄なくして自治体、公務公共労働者の幸福はない

### ●災害、事故発生について

新年早々、能登半島地震、羽田空港衝突事故が発生しました。被害に遭われた皆様のご冥福をお祈りし、お見舞い申し上げます。

みなさんのご家族やつながりのある方々が被害に遭われていませんでしょうか。一日も早い復旧・復興を祈ります。

### ●公務公共職場の職員・予算増を！

日本は地震大国と言われ続けているにも関わらず、歴代政権が公務公共職場、職員を削減し続けてきたことには大きな責任が問われます。国民に対する公務員の数は、日本は先進諸国の中でも最低です。改めて公務公共職場の職員増・予算増を求め、ここまで削減してきた政治の責任を追及していきましょう。

そして、こういう時だからこそ、「地域住民の繁栄こそ公務公共労働者の幸せである」とする自治労連運動に確信を持って前進させていきましょう。そのためにも組合員を増やし、要求を実現させていきましょう。

### ●同一労働・同一賃金を！

さて、昨年秋の賃金確定闘争では、皆様に嬉しい成果を報告させていただきました。

しかし、残念なことにすべての組合員に十分な結果とはなりませんでした。広島市外郭団体嘱託職員の増額報酬と４月遡及については、12月21日（木）広島市人事部長に要請書を手渡し、申し入れを行いました。以前は市の交渉結果に準じて、良いことも悪いこともそのまま適用されていましたが、会計年度任用職員制度導入後は、適用法が異なるという理由で外郭嘱託には賃金改定の４月遡及もなく、増額報酬にも大きく差がついています。職員のやりがいや人材確保に困難が生じており、「同一労働同一賃金」の観点からも待遇改善を市の責任で行ってほしいと訴えました。

まずは、各組合が早急に団体理事者に要求書を提出し「団体から市の担当課に強く要求してください」と訴えましょう。

今年は辰年！龍にあやかって上昇するゾ！

ともにがんばりましょう。

写真は2枚とも1月5日の新春宣伝行動の様子

## 広島市松井市長による教育勅語引用に対し、要請書提出

広島自治労連は、広島市の松井一實市長が二〇一二年以降、新規採用職員研修と新任課長級職員研修の場で「心の持ち方」などとして戦前・戦中の「教育勅語」の一部を引用したことについて、松井市長へ引用したことに対する市民への謝罪と、二度と「教育勅語」を引用しないことを求める要請書を提出しました。

自治労連は、「二度と赤紙を配らない」をスローガンに「日本国憲法」を守り活かし、住民の福祉増進を最優先することが自治体労働者に最も求められることであると確信しています。

「教育勅語」は一九四八年の衆参両院が憲法違反として排除、失効を決議しており、市長が率先して憲法違反を行ってはなりません。

被爆地ヒロシマの市長であれば、今、世界で２つの戦闘が行われているもと、日本国憲法の平和的生存権を広げるべき立場にあるはずですし、家父長制度を彷彿とさせる「教育勅語」を引用することは、ジェンダー平等社会の実現を求める世界の潮流や広島市の方針とも相反することから要請しました。

■動物園■ ASA ZOO　連載20

## よもやまばなし
## トンボ（dragonfly）のような一年に
～力強く、軽やかに飛翔の一年を～

オニヤンマは体長10 cmに達する日本最大のトンボです。近年はカやアブ、スズメバチまで捕食する最強のトンボとして虫除けグッズのモチーフになり、話題を集めていました。

グッズの効果の程はわかりませんが、オニヤンマをはじめとしたトンボの仲間が非常に飛行能力の優れたハンターであることは間違いありません。飛行中の急停止やホバリングも自由自在で、大型種の飛行速度は時速70 kmに達すると言われています。

2024年は辰年です。龍（dragon）のように力強く、トンボ（dragonfly）のように軽やかに羽ばたいていける飛翔の一年としていきたいですね。

2024 春闘

# 公共を取りもどそう

## 第２回　大幅な待遇改善で欠員解消を

### ■人手不足

自治労連が取り組む「公共を取り戻す」運動の一つとして、「人手が足りない」という声が多く挙がっており、自治労連に加入する単組の多くが欠員の問題を抱えています。春闘特集第２回では公務・公共職場の人手不足の問題をみなさんと考えていきたいと思います。

### ■深刻化する欠員問題

欠員問題は児童館や放課後児童クラブの職場で特に深刻です。募集をかけて採用された職員も短期間で退職してしまい、常に職員が定員を下回っています。この背景には、児童館・放課後児童クラブの職員は館長も含め全職員が「会計年度任用職員」と言われる非正規職員で構成されており、賃金をはじめとした待遇が子どものいのちと安全を守る職責の重さに比べて低すぎることが問題です。

さらに外郭団体では、広島市社会福祉事業団において正規の指導員の募集定員を、最初の採用試験で埋めきれなかった事例があります。

福祉現場の職員としては高い水準である正規職員の募集が集まらない状況に、現場は深い衝撃を受けており、今後人材確保に関しては相当厳しい状況が予想されます。

ただし会計年度任用職員の待遇に関しては自治労連の地道な運動が実り、格付けや昇給上限等の課題は残りつつも、来年度の一時金の勤勉手当支給（２・０月のアップ）がきまり、大幅な待遇改善が図られる予定です。これが欠員解消の一歩に繋がると共に、この流れで外郭団体の非正規職員も一時金に相当する増額報酬の大幅アップにつなげたいと思います。

### ■この流れを変えるには

この現状を打破するためには大幅な待遇改善は待ったなしです。月収数千円のアップではなく数万円のアップが実現しないと今後更に人員不足は深刻となります。

労働組合に集結して「均等待遇」「同一労働同一賃金」はもちろんのこと「職責に見合う、生活ができる賃金を」が実現する社会を目指していきましょう。

広島自治労連
連続学習会④

長久啓太さん

おすすめします！
「心理的安全性」学習会

# 風通しの良い職場をつくるヒントがいっぱい

12月20日（水）19時から連続学習会④「心理的安全性について」が開催され、会場とオンラインから42名が参加しました。

### 「心理的安全性」とは

講師の長久啓太さん（岡山県労働者学習協会事務局長）は、心理的安全性とは、「このチームでは率直に自分の意見を伝えても、対人関係を悪くさせるような心配はしなくてもよいという信念が共有されている状態」（エドモンドソンによる定義のひとつ）と紹介しました。

### 間違いや不備を未然に防止できる

そして、心理的安全性があるとミスやトラブルの報告ができるので、間違いや不備を未然に防ぐことができ目的達成のための土台となり、目的達成のために言うべきことは言い合うという状態であると説明しました。

しかし、このような状態をつくることは容易でないことも指摘。リーダーの実践・行動、メンバー同士の日々の行動・コミュニケーションの積み重ねが必要です。

### 一人一人の力でチームは作られる

学習会の参加者は得られた知識を実践すべく、次々と質問しました。一人一人の力でチームが作られていくことを改めて感じることができた学習会でした。

**感想を紹介します**

学習会を通じて、ハッと気づかされることも多くありました。心理的安全性があると意見のぶつかりも別の視点が見えてきたり、多様な意見ととらえられることから、お互い学び合える理想的な環境をめざし、心理的安全性を高める声かけを意識していきたいと思います。

女性部方針

# 核も原発もいらない社会を
# 仕事の家庭の両立で、生き生きと輝きたい

うちら女性部

2023年12月10日開催
広島自治労連第30回定期大会
**～戦争のない世界　手わたしたい～**

30回記念の「バックチャームホルダー」

会場参加者で記念撮影

12月10日（日）RCC文化センターで広島自治労連女性部第30回定期大会を開催し、会場とオンラインから50名が参加しました。

前半は、高松雅子さん（NPO法人 緑の風景 理事長）を講師に、「快適に過ごすためのアロマセラピー＆ハンドマッサージ」と題して学習会を行い、ストレス解消の手段を持つことの大切さや、アロマセラピーの精油の効用を学び、においを実際に嗅ぎ、参加者同士でマッサージし合うなど癒しの時間となりました。

定期大会では、小笠原女性部長のあいさつ、平松執行委員長の来賓あいさつに続き、30回という節目の大会として、元女性部長の坪井さんと前部長の己斐さんからメッセージをいただきました。

単組の発言の後、議案が採択されました。今後も、「ヒロシマ」をキーワードに核兵器も原発もない社会を目指し、女性が仕事と家庭を両立し、自己実現しながら生き生きと輝く社会を目指して活動を続けます。

●広島自治労連「春の組織集会」
日時　1月31日（水）18:45～20:30
会場　ロードビルからオンライン併用開催
内容　＊学習会「労働組合のキホンのキ」
　　お話する人　木下克己組織部長
　　＊組織拡大の取り組み報告、春の行動提起
主催　広島自治労連組織部　TEL 082-243-9240

★広島自治労連「2024春闘学習会」
日時　2月9日（金）18:45～20:30
会場　ロードビルからオンライン併用開催
内容　＊講演「同一価値労働同一賃金」の実現で安心して働き続けられる社会へ
講師　嶋林弘一さん（自治労連本部賃金権利局長）
主催　広島自治労連教育宣伝部　TEL 082-243-9240

■広島自治労連第68回中央委員会
日時　2月23日（金・祝）10:00～12:00
会場　ロードビルからオンライン併用開催
内容　活動経過報告、2024春闘方針提案
　　各単組、補助組織から積極的な発言をお願いいたします。
主催　広島自治労連　TEL 082-243-9240